



学校だより

# 往来ヶ丘

令和5年度 第11号

令和6年3月19日発行

江津市立高角小学校

江津市嘉久志町イ 645 番地

文責:校長 舟木志郎

学校教育目標  
めざす子ども像

豊かな心とたくましさを持ち、確かな学力を身につけた子どもの育成  
たのしむ子 かかわる子 つづける子 のびやかな子



## 37名が高角小を卒業しました

「お別れのことば」は、一人ひとりが将来の夢・目標を語り、卒業生全員で合唱。涙ぐみながらも一生懸命歌う姿が感動的でした。

3月15日、37名の児童が高角小学校を卒業しました。3年～5年生の在校生(1・2年生は教室でのリモート参加)、来賓の皆様、保護者の皆様に見守られて、卒業式に臨んだ6年生です。式の前日までインフルエンザの影響で、全員がそろうことができず、十分な練習ができませんでした。その分、集中力を発揮して、小学校最後の「学び」の時間をつくりあげました。

まちづくり推進協議会、婦人会の皆様からお祝いもいただき、ありがとうございました。



「送る言葉」

5年生の代表2人が卒業生との思い出を語り、3～5年生全員で合唱して、思いを卒業生に伝えました。



教室で最後の学活を終えた卒業生を、全校で見送りました。



「送る会」で使った衣装・仮面をまとめて巣立つ児童も…。



校舎を出た後は、記念写真の撮影が続きました。

【式辞】で伝えた思い。卒業生たちが学習発表会で訴えた「思いやり」の大切さをもとに、「慮ること」「折り合いをつけること」の大切さを伝えました。容易なことではありませんが、急速に社会が変化し、視野も拡大していくこれからの時代を生き抜いていく時、大切にしていって欲しい、と願いました。



## 5年生が中心につくあげた「送る会」

卒業式は、6年生の最後の学びの時間ですが、「送る会」は、6年生への感謝を伝え、思い出をつくとともに、5年生が初めて全校のリーダーとして力を発揮する学びの時間でもあります。

各学年の出し物、縦割り班でのゲーム、メッセージ渡し、くす玉割り、それぞれ工夫しながら取り組みました。計画や進行をした5年生も立派にやり遂げ、自信を深めました。



## 性の学習(5年生)



2月の参観日、5年生は助産師の方と、生まれて間もない赤ちゃんとパパ・ママをお招きし、生命誕生を題材に、性の学習を行いました。助産師さんが話を進め、「パパ・ママ」になったお話、子ども誕生のお話を、子ども達は食い入るように聞いていました。児童の後列では、保護者の方もいっしょに話を聞いていただきました。

## メディアコントロール

学期毎に、「メディアコントロール」として生活リズムづくり・改善の取り組みを、家庭にも協力を呼びかけて取り組んでいます。子ども達はそれぞれ目標をたて、取り組んでおり、成果も挙がっています。一方、「平日はせめて2時間以内、休日も3時間以内」が望ましい、という指標に照らしたとき、中学年～高学年の一部に、長時間の接触が見られることが気になります。



左図は1学期、右図は3学期。横軸が平日、縦軸が休日の接触時間。児童一人一人の散布図。線の内部が平日2時間・休日3時間。



## 卒業を前に・

6年生が卒業を前に、図工でオルゴール箱作りをしました。思い出の場面や印象に残っていく場面を丁寧に彫り、色付けして作品を仕上げました。

修学旅行や運動会の行事、思い出のランドセル、やがて来る卒業の日。一人一人がいろいろな思いを込めた作品となりました。オルゴールの奏でる曲も、それぞれが選んだそうです。きっと素敵な音が響くことと思います。

## 校内寸描

校長室の横の階段を通過して学校図書館に向かう子どもたちの姿があります。いけないのですが、ちょっと駆け足…。踊り場、図書館の入口には、図書館司書の職員と委員会の子どもたちが、季節ごとの掲示を工夫し、読書への興味をいざない、関心を高めています。



## 編集雑記

「イニシエーション」という言葉があります。通過儀礼のことで、成長の段階で通る儀式でもあります。古くはこれを経て髪の色や服装を変えてもいました。小学校にもあります。入学式や卒業式はその一つ。そして、5年生の3学期。学校のリーダーだった6年生から、様々なバトンを受け取り、次年度での活躍に向けた準備が始まります。年度終わりの3学期、5年生32名は、しっかりとバトンを受け取りました。

一部の写真は加工をしてほかしています

ご質問・ご意見をお待ちしています  
カラー版はHPで掲載しています

mail: takatsuno-sho@gotsu.ed.jp  
https://www.city.gotsu.lg.jp/site/takatsuno/